

2006年11月20日発売

第2弾 / 全10タイトル

Camerata Classic Essence

《カメラータ・クラシック・エッセンス》

カメラータ・カタログの中から、ウィーンの名手による、ウィーンの室内楽を中心に高い評価を得たアルバム10タイトルを厳選。お求めやすい価格にプライス・ダウンでお届けする待望のシリーズ第2弾！
全アルバム、JVC開発によるK2リマスタリングを施し、音質を改善。
カメラータの定評ある高音質録音をお楽しみ頂けます。



モーツァルト：弦楽四重奏曲 第19番「不協和音」& 第14番「春」



ウィーン弦楽四重奏団
録音：1989年（ウィーン）
● CMCD-20071 ¥2,100（税込）

モーツァルト：ピアノ三重奏曲全集



ウィーン・ベートーヴェン・トリオ
録音：1989, 90, 92年（ウィーン）
● CMCD-20072~3（2枚組）¥4,200（税込）

モーツァルト：オーボエ・ソナタ集



（原曲：ヴァイオリン・ソナタ）
K.454/K.526/K.379
トーマス・インデアミュール（ob）
カレ・ランダル（pf）
録音：1993年（ドイツ）
● CMCD-20074 ¥2,100（税込）

モーツァルト：ディヴェルティメント K.563



シューベルト：
弦楽三重奏曲 第2番
ウィーン・フィルハーモニア弦楽三重奏団
録音：1995年（ウィーン）
● CMCD-20075 ¥2,100（税込）

モーツァルト&クロンマー：オーボエ四重奏曲



ジュスマイア：五重奏曲
トーマス・インデアミュール（ob）
ディーター・フルーリー（fl）
ウィーン・フィルハーモニア弦楽三重奏団
録音：1997年（ウィーン）
● CMCD-20076 ¥2,100（税込）

ベートーヴェン：三重協奏曲& ピアノ三重奏曲



ウィーン・ベートーヴェン・トリオ
フィリップ・アントルモン指揮
ウィーン室内管弦楽団
録音：1991年（ウィーン）
● CMCD-20077 ¥2,100（税込）

ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第5番「幽霊」&第6番



ウィーン・ベートーヴェン・トリオ
録音：1991, 93年（ウィーン）
● CMCD-20078 ¥2,100（税込）

ベートーヴェン：クロイツェル・ソナタ



歌劇「フィガロの結婚」の主題
による12の変奏曲 WoO.40
ロンド WoO.41
フォルクハルト・シュトイデ（vn）
ローランド・パティック（pf）
録音：1997年（オーストリア）
● CMCD-20079 ¥2,100（税込）

シューベルト：ピアノ三重奏曲 第1番& 「ソナタ楽章」



ジャスミンカ・スタンチュール（pf）
ウェルナー・ヒンク（vn）
フリッツ・ドレシャル（vc）
録音：1995年（ウィーン 他）
● CMCD-20080 ¥2,100（税込）

ドヴォルジャーク：弦楽五重奏曲 第2番



ワルツ Op.54-1 & 4
ヒンデミット：8つの小品 Op.44-3
ウィーン弦楽五重奏団
録音：1992年（東京 他）
● CMCD-20081 ¥2,100（税込）



11月20日発売

■ 録音：2004年～2006年／ウィーン 他
● CMCD-28125 ¥2,940 (税込)

今世界で最も注目を集める作曲家 ヘルベルト・ヴィリ
 期待のニュー・アルバム!

ヘルベルト・ヴィリ 室内楽作品集

今、国際的に最も注目されているオーストリア出身の作曲家、ヘルベルト・ヴィリ。彼の作品は既に世界の著名なオーケストラのレパートリーに取り上げられています。特にヨーロッパでの注目度は群を抜き、ウィーン・フィルからの複数の作品委嘱、また地元、モンタフォンで大規模な音楽祭も計画されています。来年はPMFのレジデント・コンポーザーに選ばれており、今後日本でも間違いなく注目を集める作曲家の一人です。ウィーン・フィルとベルリン・フィルのメンバーをも魅了し、アーティストがそぞろで演奏したがるヴィリの作品、日本の皆様には逸早くヴィリの世界をお届けします。

* * *

(1) 弦楽四重奏曲 1986 / ウィーン・アルティス・カルテット (2) フルート・ソロのための作品 / ヴォルフガング・シュルツ (3) ヴァイオリン、ホルン、ピアノのための三重奏曲 / サシコ・ガヴリロフ (ヴァイオリン)、シュテファン・ドール (ホルン)、フェレンツ・ボーグナー (ピアノ) (4) フルートとピアノのための作品 / ヴォルフガング・シュルツ (フルート)、フェレンツ・ボーグナー (ピアノ) (5) クラリネット・ソロのための作品 / ノーベルト・トイブル (6) 金管五重奏曲 / ラインホルト・フリードリヒ (第1トランペット)、ガポール・タルコヴィ (第2トランペット)、シュテファン・ドール (ホルン)、オラフ・オット (第1トロンボーン)、ウヴェ・フェッセル (第2トロンボーン) (7) ピアノ作品 XI / フェレンツ・ボーグナー (8) クロノスのカイロ 1756/1956 — 弦楽三重奏のための — / マルティン・ツァロデック (ヴァイオリン)、エルマー・ランデラー (ヴィオラ)、ローベルト・ノージュ (チェロ)

「栗本尊子の声は、日本音楽界の奇蹟です。」 — 畑中良輔

世界の奇蹟・グレート・ヴォイス
 栗本尊子(メゾ・ソプラ)今ここにCDデビュー!

愛と祈り ~ 歌いつがれる日本のうた 栗本尊子

レコード芸術 特選盤



- ぼらの花に心をこめて
- 悲しくなったときは
- さくら横ちょう
- 愛と祈り
- 赤とんぼ
- 霧と話した
- みぞれに寄する愛の歌
- おやすみなさい
- さくらさくら
- 中岡地方の子守唄
- 荒城の月
- サルビア
- からたちの花
- この道
- ボーナストラック
 (2005年10月リサイタル・ライブ録音)
- 落葉松

栗本尊子(メゾ・ソプラ)
 塚田佳男(ピアノ)

■ 録音：2006年4月 / 横浜
 ● CMCD-28110 ¥2,940 (税込)

大好評発売中

「栗本尊子の声は、日本音楽界の奇蹟です!」

栗本尊子さんの歌を聴いたのは、私が東京音楽学校に入学した昭和十五年(1940年)新学期早々の五月二十五日、普通(土曜演奏)と呼ばれる学友会第百二十五回演奏会が最初である。丁度六十六年前も昔の事となる。演奏の不思議と云おうか、音はその瞬間に消えるものだが、心に刻まれた演奏はその人の心に永遠に残り続け、人に伝えられるものだ。(中略)

六十数年経った今もなお、あのチャミングな歌と大輪の花は、健在である。何という奇蹟であろうか!

畑中良輔



【栗本尊子・プロフィール】 Takako Kikumoto 86才

東京音楽学校(現、東京芸術大学)卒業。リア・フォン・ヘッサートに師事。1946年『嫁ぐ夫人』のスズキ役でデビュー以来、『ファゴットの結婚』『コン・ファン・タッチ』をはじめ、『ぼらの騎士』『カルメン』『こらもり』『ボッペアの戴冠』『ピーター・グラウムス』『泥棒とオールドミス』など、バロックから現代作品に至る諸作、さらに『黒船』『聴耳頭巾』『修善寺物語』など邦人作品を中心に、数多くのオペラ公演で主要な役を務め、その大半が日本初演だった。NHK交響楽団の「第九」のソリストをはじめとするコンサートでも活躍。1977年以降、日本歌曲によるリサイタルもしばしば開催している。2002年に開催された話題を呼んだ「グレート・マスタース〜日本音楽界をささえつづけるアーティストたち〜」公演(紀尾井ホール)において、その入魂の絶唱が会場を沸かしたことは記憶に新しい。その後、二回の日本歌曲リサイタルを開催し、満員の聴衆を集めている。

そして今年、今回いよいよ初めてのCD全国発売になった。【栗本尊子の声は、日本音楽界の奇蹟です】(畑中良輔氏)との言にあるように、日本歌曲の真髄である言葉の美しさ、その感情表現にみられる“うた”芸術とあいまって、その歌唱には何人にも及びもつかない末路の高みが見られている。二期会名誉会員。